

2006年11月

2006年11月30日

広島情報 誰が捨てた！！！！

昨日のボラ報告に、たくさんのレスありがとうございました。

皆さんの暖かい声を、できる限り現地のボラに届くよう頑張っ**て**バックアップをしていきます。

まずは報告。

火曜日にボラさんたちと計画した譲渡フード搬送。

ものすごくうまく動いています。

でも、配送の純ちゃんに多大な負担をかけているのが心苦しい。

配送の純ちゃんが届けてくれた山口(だっけか?)の山奥の保護施設、オッチャンが一人で200頭ぐらいのワンコを泊まりこみで保護してくれているらしいのですが、明日食べるフードすらなかったらしい。

純ちゃんの搬送で食事ができた。ホントのレスキューだ！

純ちゃん、ありがとう。今日も搬送している様子。

ヘルニア気をつけてね。

松山からは、無事に届いた、との連絡がありました。ありがとう！

さて、昨夜、広島から電話がありました。

ボラ「ナナパパさん、昨日(火曜のこと)の夜、ゴミ捨てした？」

僕「いや、昨日の最後は、机の掃除だけして、引き継ぎ書いて帰ったよ。どしたん？」

ボ「今日ねえ……ボラさんがゴミ捨てに行ったら、呼ばれたの」

僕「何て……」

ボ「ゴミ捨て場に、黒いゴミ袋3袋あって、首輪とリードが中に入れて捨ててあったんですよ」

僕「捨ててない！捨ててないよ、僕は。誰が捨てたん？」

ボ「そうよねえ、ナナパパ捨てないよねえ。それはわかってたけど、一応確認したかったんだ。上のボラやスタッフに聞いても、捨ててない、っていうし……」

僕「でも、ゴミ捨て場に、しかもビニール袋に入れて置いてあったってことは、誰かが捨てたんやろ……」

ボ「それもね、その捨てられていたリードや首輪、わたしがサイズ分別して、上に上げた物

資なのよ。覚えてるんよ、あれ。」

僕「……ほな、上の誰か？」

ボ「でも、捨ててないって言ってるし……」

僕「洗って使える？」

ボ「袋の口が開きっ放しだったから、ちょっと無理かも(これは、イタチやネズミが徘徊した可能性が高い、ということ)」

僕「そっか……しゃーないな……」

ボ「ゴメンね、一応確認したかったから、じゃあね」

というのが、電話のやり取りであった。(一字一句コピーとはいえないけど、おおよそこういうやり取りであった)

誰が？

何で？

僕がパークをあとにしたのは、7時前ぐらいだったか……ハッキリとした時間は記憶していない。すでに真っ暗。倉庫の電気も消したし、昨日の記事でアップした最後の写真の時間である。

それ以降に、誰かが捨てたのか、それとも、まだ僕がいるうちに捨てたのか、わからない。ゴミ捨て場には、ゴミを捨てる時しか行かないから、早い時間に捨てられていても気がつかない。(特に、ゴミ置き場は、ブルーシートでカバーしてあるので、捨てる時以外、そのシートをまくらないため、ちょっと見た目には、ゴミの山があることしかわからない)

それに、物資の首輪やリードは、すべて箱詰めされ、倉庫に山積みされている。捨てるなら箱ごとである。

気になることは一つある。

支援物資を廃棄する、と言う件では、BBS や2チャンネルでも批判があった。もし、あのゴミ袋が、物資ボラ以外の目に触れれば、きっと「また、ボラが物資を捨てた」と批判対象になることは確実である。口の開いたゴミ袋である。中身は丸見えだ。

まさか……

ボラ虐め？

余剰処分？

疑いたくは無い。

でも、物資ボラが、実際に自分で仕分けした記憶のあるリードや首輪である。行き先はわかっている。

いやだ。また人を疑う行為をするのか……

誰だ！！

すでにムーブの放送でも、倉庫の中が取材されていた。
僕のブログでも、箱詰め作業やフードの整理の話を書いてきた。

でも、その作業の倉庫の写真は少なかった。

今日、その倉庫の写真をアップする。
この写真は放送翌日の写真である。

倉庫の物資を御覧ください。

ヒルズの ad 缶フードのアップと ad 缶の山積み



ad 缶と pd 缶の山。手前が pd、奥半分が ad。



ad 缶フード別角度

山積みとは別な場所の pd 缶



ad 缶の下の箱。

ad 缶の下の箱のアップ



dd 缶と wd 缶のフード。奥に薄く見えるのは上記の ad 缶。wd の左はアダルト。



dd カリカリフード

zd とアイムスのカリカリフード



グロース缶と wd カリカリフード いろんなフード、未開封



パピー缶フード



ユーカヌバの山



バラのカリカリフード、試供品など、すべて種類別に分けて箱詰め。譲渡対象である。



安物と呼ばれているフード。これらが他団体への譲渡対象フードである。(安物とは失礼な話である。申し訳ない。ちなみに、我が家も、この手の安いフードである)



オシッコシートの山。このシート保管場所は20畳ぐらいの広さがある。すべてシートで天井近くまで埋まっている。



高価なノルバサンシャンプー 間のダンボールも、すべてノルバサンシャンプー



ダイソンの掃除機3台。(2台は上に、1台は宿泊所へ) カゴメ提供レンジでチン(レンジが遠くなかなか食べられない)



ハイターの山

同じく別角度



バリケン、ゲージの山。もう下の方のを取るのは大仕事。ここは要整理である。

同じくバリケン、この左手に湯たんぽがある



ベッドと薬品類。ベッドはだいぶ減った。薬品は箱の表示とは無関係。中身はべつもの。
(小型犬用のベッドは箱詰めしてダンボール数箱に入っている。ビニール袋むき出しは大型犬用。これ書き忘れで追加分)



毛布の山。スペースは四畳半程度に山盛り。以前はもっとあった。



フェイスタオル(ハンドタオル)のダンボール。壁一面これ。

バスタオルのダンボール。フェイスタオルの 90 度方向の壁一面。奥に見えるのとその左は敷物関係、ココも山。



フェイスタオルもバスタオルも、すべてビニール袋に詰めてからダンボール詰め。この作業が一番時間がかかる。

行き場の無いファンヒーター。せつかくの善意なのに、電源の関係で使えない。



ボラやスタッフの宿泊施設の玄関前にある新品洗濯機。

上にもすでに数台稼働中。物資でも一台稼働中。



wd 缶とアダルト、 アダルト、メンテナンス、ヤギミルク



湯たんぽ、バリケンの左手のもの。レンジ用と思われる。



これらの在庫を、どうこう言うつもりはありません。

現状をありのままお伝えするだけです。

これでも、相当減った。これの数倍の量はあったであろう。

今は、とりあえず、歩くスペースが作れているから。

これらを、すべてビニール袋、あるいは箱詰め、であった。

ダンボールはつぶれる、フードは破ける、作業中に不注意で無駄にする物資もあった。思わず「ゴメン」と誰もいない空間に向かってつぶやきながらの作業である。

この倉庫に、多くても数名、それぞれの場所で作業をしていました。

だいたい一人が一種類の担当とってくれればいいと思います。

(休日でボラが多いと、一種類に二人とか三人とか、になる)

まあ、大量にボラが入っても、歩くスペースがやっとですので、作業ができなくなりすけどね。

サンプルフードの整理は、ほとんど「神経衰弱ゲーム」か「かるた取り」の世界である。一面に撒き散らし、同じメーカー、種類別に仕分けていく。またこのサンプルが異常に多い。最初は楽しいが、じきにうんざりするぐらいの量だ。もちろん、一日なんかで終わる量ではない。何日も同じことの繰り返しである。

もちろん、そのまま帰るわけにはいかないの、未整理分はまた袋とダンボールへ。翌日、またばら撒いて神経衰弱である。

こんな作業中に、宅配トラックがつくと、また台車で運び込むので、足の踏み場がなくなります。

完全に座り込んで作業です。

使用したビニール袋やゴミ袋の量も半端ではなかったはず。

だから、送ってくれた時にビニールに入っていたものは、ほとんど再利用してました。

譲渡用フードは上記のように「安物」と言われるのが主体です。(失礼な呼び名であるが) ad や pd は出していません。

もちろん、アイムスもユーカヌバも出していない。

缶フードも同じく安いものが譲渡対象です。

でも、このことで物資ボラを責めないでください。

ボラの一存では出せないのです。

「何で？」と思いつつも、譲渡できるフードは限定されているので、出せません。

勝手に出せば、それこそ、「ボラが盗った」となるのです。

ですから、ボラは悲痛な顔で「これダメなんです」と言うしかない。

あるのに出せない。これって辛いですよ。

さすがに特殊フード(腎臓サポートや肝臓サポートなど)は、極端に在庫がありません。wd
や dd の缶フードの棚の下に、特殊食が少しあるだけです。

写っていないけど、リードや首輪の入ったダンボールも数箱あります。

また、人間用防寒着、犬用洋服、手袋、長靴、なども、多数のダンボールがあります。

ボラの時に良く耳にしたこと。

上で犬ボラが「あれが欲しい。これがほしい」と要望を出す。

でも、答えは「在庫が無い。」「無駄遣いするな」

倉庫にはあるのです。

上と下の意思疎通が希薄でした。

ボラリーダー同士がやり取りすれば、簡単にけりがつくのに。

中継役のなにかが、意思疎通を阻害する……のかもしれませんが。

時間のロスであり、物資のロスである。

何度か、そういう話を耳にしました。

物資には多くの手紙が添えられています。

それを読んでは、ボラは「ありがとうね」「頑張るよ」と手紙に語りかけながらやっています。

時には、そのメッセージを倉庫の見える場所に貼り付けて元気をもらいながら。(以前、何枚かその風景をアップしています)

物資受付で、指定物資(例えばA-1の〇〇ちゃんに使って欲しくて、などという依頼)があるときなどは、その手紙を添えて、ボラが直接上に運ぶこともありました。

支援者のそんな気持ちを無視することなんかできません。

これだけ多量の物資を、支援者の手紙に励まされここまで整理したボラが、首輪やリードを無造作に捨てるか？

「捨てるはずがない！」

感謝こそすれ、捨てれるはずがあるか！

みんな、みんな、同じワンコ飼いのボラたちだ。

手紙の思いは痛いほどわかる。

支援物資を無駄にする？

支援物資を廃棄する？

ボラが盗人？

ボラだって、みんなブログを持っていたり、BBS も見るし、2チャンネルも見る。

当然、批判や中傷もみんな知っている。

自分たちは捨てていない。

自分たちは無駄にしていない。

自分たちは盗んでいない。

そう声を大にして叫びたいのを辛抱しながら、ワンコのために現地向かっている。

物資もそうだ。

これだけの大量の真心からの物資を無駄にしたくない。守りたい、その思いでボラに入っている。

現地に駆けつけたくても駆けつけられない人たちの、心からの支援品。

駆けつけれるボラが、その気持ちを引き継ぎ、更に犬ボラに引き継ぎ、少しでもワンコのために、と使っていく。

もし、ここで、ボラが手を引いたら、それこそ、ワンコはどうなる？ 物資はどうなる？

それを思っているからボラに駆けつける。

最後まで見守るために。

最後まで見届けるために。

真心の支援品を守るために。

すべては「ワンコ」のためでしかない。

ワンコを救う、と言う純然たる思いから始まったボラが、今、周囲の大困惑の中で必死に作業を続けている。

初心の「犬を」を持ち続けながら。

その初心を「すべての人」に思い出して欲しい。

そして、初心を取り戻せない人は……去ってくれてもかまわない。

僕は、そう思う。

誰も人がいなくなるなら、僕が行く。

uran_nana2003 at [19:38](#) | [コメント\(89\)](#) | [トラックバック\(0\)](#) 

[広島ドッグパーク](#)

2006年11月29日